

プレスリリース（ご案内）

COI-NEXT 川崎拠点（プロジェクト CHANGE） 第 3 回シンポジウム「共に創ろう！健康長寿社会」 ～ CHANGE Our Future Together ～

報道関係者 各位

平素は大変お世話になっております。

文部科学省/JST による「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」川崎拠点（プロジェクト CHANGE、プロジェクトリーダー：一木隆範/ナノ医療イノベーションセンター研究統括/東京大学大学院工学系研究科教授）は、プロジェクト発足後 3 回目となる CHANGE シンポジウム「共に創ろう！健康長寿社会」を 12/13（金曜日）午後 2 時より、後述の要領にて実施します。

プロジェクト CHANGE も採択から 2 年が経ち、組織の基盤もだいぶ固まり、ケア現場から掘り起こされた多種多様なニーズから生まれた研究も始まっています。また、その成果をいち早く製品化して現場に届けるために 11/1 付で「かわさきケアデザインコンソーシアム」を立ち上げました。一見参加が難しそうに思えるヘルスケア産業ですが、パルスオキシメーターや超音波測定器に代表される非侵襲性の検査機器や療養者宅と医療機関を繋ぐ通信機器は、医師や看護師のような特別なライセンスを持たずして誰でも手軽にかつ安全に使えることが重要で、少子高齢化により増える地域・在宅医療の課題に応える手段ともなります。

私たちがビジョンに掲げる「レジリエント健康長寿社会の実現」を成し遂げるためには、ケアする側のイノベーションだけでなく、ケアを受ける側の対策も必要です。本シンポジウムの第 1 部では、「レジリエントな身体」をつくるために必要な道具として新規医薬品モダリティにフォーカスします。「エクソソーム」の世界的権威である Lim 先生 による基調講演に続き、東大・瀬尾先生が最近話題の「エクソソーム」に関する基盤技術について解説します。また、日本を代表する mRNA 医薬の研究者として東京科学大学・位高先生が「mRNA 創薬の今後の展望」と題して、mRNA を治療に使う試みについて述べる予定です。

第 2 部では、川崎市内の高校生 4 名に登壇頂きます。未来の社会を創るためには、次の時代の当事者となる次世代人材（高校生）がトップスピードで私たちのバトンを受け取れるよう、バトンゾーンをしっかりと設け、伴走しながら互いの時代に合わせた考え方を共有し、共感できる場を築きたいと考えています。このセッションでは、高校生の思考やカルチャーに精通した大手予備校化学講師の坂田 薫先生にモデレーターをお願いし、プロジェクト CHANGE に対する意見や質問を引き出していきます。それらに対して、CHANGE の研究者が回答する形で進めていく予定です。

是非、ご出席のほどよろしくお願いいたします。

記

日時： 2024年12月13日（金）14時～18時
場所： ステーションコンファレンス川崎（JR川崎駅西口直結）

<https://kawasaki.tstc.jp/access/>
Zoomによるオンラインでも視聴できます。

参加費： 無料

事前登録： 12月8日までに以下のサイトからご登録をお願いします。

https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/event_3rd_symposium.html

主催： 公益財団法人川崎市産業振興財団

後援： 文部科学省、日本科学技術振興機構、川崎市看護協会、川崎市薬剤師会、川崎市

COI-NEXT川崎拠点“CHANGE”第3回シンポジウム

CHANGE

Our Future Together

共に創ろう！健康長寿社会

2024
12/13
FRI
14:00~18:00

開催方法 会場 & オンラインのハイブリッド開催
日英同時通訳あり

会場 ステーションコンファレンス川崎
JR川崎駅直結（13:30受付開始）

ライブ配信 Zoomウェビナー

参加費 無料

参加申込 12月8日(日)まで ※要事前参加登録

CHANGE 共創の場形成支援プログラム



14:00~
開会挨拶
片岡 一則 川崎市産業振興財団 副理事長 / ナノ医療イノベーションセンター (ICONM) センター長
福田 紀彦 川崎市市長

来賓挨拶
長我部 信行 IST 共創の場形成支援プログラム 共創分野・地域共創分野 第2領域プログラムオフィサー
平野 博紀 文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課 拠点形成・地域連携室 室長

拠点紹介
10分 レジリエント健康長寿社会の実現に向けたチャレンジ
一木 隆範 プロジェクトリーダー / ICONM研究統括 / 東京大学 教授

14:30~
第1部 未来医療の現在地～新しい医療モダリティ～
40分 基調講演
Rethinking MSC-sEV Action: The Impact of External Modulation over Cellular Internalization
Sai Kiang LIM Research Director, Paracrine Therapeutics Pte Ltd
20分 拠点での取組み
細胞外小胞(EV)の調製法や評価法等の基礎技術
瀬尾 尚宏 東京大学大学院 工学系研究科 特任准教授
30分 拠点での取組み
mRNA創薬の今後の展望
位高 啓史 東京科学大学 生体材料工学研究所 教授
30分 パネルディスカッション
新規モダリティの社会実装と受容における論点
モデレーター 仙石慎太郎 研究開発課5リーダー / 東京科学大学 教授
パネリスト 位高 啓史 東京科学大学 生体材料工学研究所 教授
井上 貴雄 国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部 部長
秋永 土朗 NANO MRNA(株) 代表取締役社長

休憩/ティーブレイク

第2部 坂田薫先生と語ろう、私たちの健康未来
10分 イントロダクション
坂田 薫 8bit.news "SCIENCE NEWS" キャスター/大手予備校化学講師
15分 FOBオピニオン
高校生4名 羽黒心音さん、山本夏々さん (私立洗足学園高校 2年)
藤納拓真さん、富永航汰さん (川崎市立川崎総合科学高校 2年)
35分 ディスカッション
高校生4名 川崎市立川崎総合科学高校、私立洗足学園高校
モデレーター 坂田 薫 8bit.news "SCIENCE NEWS" キャスター
大手予備校化学講師
モデレーター 島崎 眞 副PL/ICONMコミュニケーションマネージャー

17:50~
閉会挨拶
鈴木 毅 川崎市産業振興財団 理事長

第1部 基調講演
Sai Kiang LIM
Research Director,
Paracrine Therapeutics Pte Ltd

第1部 講演
瀬尾 尚宏
東京大学大学院
工学系研究科
特任准教授

第1部 講演
位高 啓史
東京科学大学
生体材料工学研究所
教授

第2部 ゲスト
坂田 薫
8bit.news "SCIENCE NEWS" キャスター
大手予備校化学講師

お問い合わせ
公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター (ICONM)
CHANGE 研究推進事務局 change-event@kawasaki-net.ne.jp



共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT) について

大学等が中心となって 未来のあるべき社会像 (拠点ビジョン) を策定し、その実現に向けた研究開発を推進するとともに、プロジェクト終了後も、持続的に成果を創出する自立した産学官共創拠点の形成を目指す産学連携プログラム。JSTの既存の拠点形成型プログラムの1つである、センター・オブ・イノベーション (COI) プログラムがコンセプトとして掲げる「ビジョン主導・バックキャスト型研究開発」を基軸とした制度設計を行ったことから、本プログラムの愛称を「COI-NEXT」ともいいます。知と人材の集積拠点である大学等のイノベーション創造への役割が増している中、これまでの改革により、大学等のガバナンスとイノベーション創出力の強化が図られてきました。今後、「ウィズ/ポストコロナ」の社会像を世界中が模索する中、我が国が、現在そして将来直面する課題を解決し、世界に伍して競争を行うためには、将来の不確実性や知識集約型社会に対応したイノベーション・エコシステムを「組織」対「組織」の産学官の共創 (産学官共創) により構築することが必要となります。

<https://www.jst.go.jp/pf/platform/outline.html>

プロジェクト CHANGE について

文部科学省/JSTによる「令和4年度共創の場形成支援プログラム COI-NEXT」(共創分野・本格型)に川崎市産業振興財団(理事長:三浦 淳、所在地:川崎市幸区、略称:KIIP)が代表機関となり申請し、2022年10月25日に採択が決まったCOI-NEXT川崎拠点のことをプロジェクトCHANGEと呼びます。「医工看共創が先導するレジリエント健康長寿社会」をビジョンに掲げ、少子高齢社会にあって負担が増える医療職種の中でも、これまで工学がほとんど介入してこなかった看護領域に特に着目して看護業務の負担軽減を工学の力で行うとともに、老化に抗う身体を造る術について研究開発を行い社会実装します。さらには、市民のケアコンピテンシー(ケアする力)を高め、誰もが簡便に扱えるケア製品やシステムを開発します。

<https://change.kawasaki-net.ne.jp/>

公益財団法人川崎市産業振興財団について

川崎市の100%出捐により昭和63年に設立され、川崎市内及び周辺地域の産業経済の発展に寄与すること、また、先端的な医療分野、薬学分野等における研究開発の推進等により 医療・福祉の向上などを目的としています。行政や関係機関、各拠点と連携し、川崎市産業振興会館を市内中小企業・ベンチャーの支援拠点として位置づけ、経営支援強化をはじめ、新産業・新技術の創出支援など、産業振興に関わる諸事業に積極的に取り組むと同時に、中小企業・ベンチャー等の抱える課題の解決に向けて、「総合的な支援サービスの提供」に注力しています。

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/>

ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター(iCONM)は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成27年4月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と 実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

2024年11月12日